

第14回市民文化ホール建設委員会議事概要

| | |
|----------|---|
| 日 時 | 平成 24 年 4 月 19 日(木) 19 時 00 分～21 時 15 分 |
| 場 所 | 福祉会館 3 階会議室 2 |
| 出席者 | <p>委 員 土井健司、徳永幸夫、阿部秀信、石川進、井上仁、合田志保、小林孝則、鈴木太、高橋華子、高畠澄江、土谷浩也、藤原達也、古川静江、星川将一、三谷一恵、一色鉄馬、守谷和久、鈴木延寿</p> <p>事務局 利藤企画財務部長、河村市民文化ホール等整備課長、田辺課長補佐、今村課長補佐、中山係長、加地係長、福田係長、佐藤、加地市民交流課長、宝利文化図書課長、吉岡建築住宅課長補佐</p> <p>空間創造研究所 米森氏</p> <p>日建設計 江副執行役員、阿波野技師長、小野主管、牛尾主管、佐賀</p> |
| 公開・非公開の別 | 公開 |
| 非公開の理由 | |

(協議概要)

| 項 目 | 協議概要 |
|-------------------|---|
| ■会議の成立について | ○委員長：委員 25 名中、18 名の出席により委員の過半数の出席を確認したので委員会は成立。 |
| ■委員会の公開、非公開について採決 | ○委員長：非公開にする議題が無いため公開とする。 |
| ■本日の議題について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案書について ・ 設計に関するスケジュールについて ・ 設計モニタリングについて |
| ■新委員の紹介 | ・ 新委員紹介 |
| ■設計者紹介 | ・ 設計者紹介 |
| ■事務局新メンバー紹介 | ・ 事務局新メンバー紹介 |
| ■提案書内容説明 | ○日建設計：プロポーザル二次審査時の提案をパワーポイントにより再説明 |
| ■全体スケジュール説明 | ○日建設計：8月まで基本設計、年度内に実施設計を完了する予定。その後、事務局にて入札準備、議会承認を経て、2013（H25）年10月着工、2015（H27）年3月竣工を目指してスケジュールを調整中。 |

| | |
|--|---|
| <p>■基本設計協議スケジュール説明</p> | <p>○日建設計：基本設計期間中、月1回のペースで設計者・建設委員会で協議を行う予定。仮に第3水曜でスケジュールを組んでいるが、実際の日程は事務局で調整していただく予定。</p> <p>各項目に関し、設計者が説明する予定の日程を説明。その次回に建設委員会より承認をいただき、不可であればさらに協議を重ねる。</p> <p>8月末に基本設計書提出であり、7月の協議が終わってから基本設計書作成に移るため、それまでに大方の内容の承認をいただきたい。そのため、5、6、7月で密度の濃い協議をお願いしたい。</p> |
| <p>■建設委員会からのプロポーザル案に対する質疑に対する設計者回答</p> | <p>○日建設計：別紙資料により説明</p> |
| <p>■意見交換</p> | <p>○委員：ひとつづくり支援センターというハンディキャップを持つ方々のための施設を市民文化ホールというオープンな施設の敷地内に建設するという事は、大変先進的であり、大切な考え方である。市民としての誇りにつながる。</p> <p>市民文化ホールとひとつづくり支援センターとの間に森を作るよりも、二つの施設をより一体化してとらえる方向性で計画するべきではないか。</p> <p>○委員：ひとつづくり支援センター側の意見を聞き、反映させるべきではないか。芝生広場を支援センターも使いたいという意見もあるかもしれない。一体となって考えていく必要があるのでは。</p> <p>駐車場が足りない場合、近隣で準備するとすれば、C案を推したい。</p> <p>○委員長：敷地区分に関する懸念は？</p> <p>○日建設計：市建築住宅課及び県建築指導課と、A案をベースとして協議を行った結果、大方問題なしとの回答であった。C案については詳しく協議を行っていないため、即答はできないが、今のところ問題ないのではないかと考えている。決まった案を基に今後協議が必要。</p> <p>○委員長：都市計画上の制度の縛りがあり、これを解決しないと全体の配置計画が確定しない。配置計画が問題ないか、早めにご確認いただきたい。</p> <p>配置そのものが革新的であり、ユニバーサルデザインであるので、これを売りにできるように考えていきたい。</p> <p>○委員：基本構想で8000㎡程度の駐車場を謳っているが、C案では約6000㎡を下回るのでは。駐車場を近隣で確保する等の対策を取る必要があるのでは？</p> <p>○事務局：周辺の商業施設と話を進めている。その結果次第では、敷</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>地内の駐車台数に応じ、敷地外に新たな専用駐車場の確保を検討することもある旨、議会でも説明している。第一段階としては周辺商業施設との連携を考えている。</p> <p>○委員：東側歩道は幅員4mを確保してほしい。古井池より北側にも中上自治会があり、現状の古井池東側堰堤の生活道をよく利用している。病院への通院等は、車でここを通過してバイパス側に出ている。歩道だけではなく、片道だけでも車が通れる設計にはできないか？</p> <p>中上地区では排水量が多く、これ以上雨水排水が増えると排水設備の補修が必要。質問回答にあるように、吸水性はとて面白いと思うが、地下雨水槽での貯留量は十分か？</p> <p>楽屋にホールの進捗状態のわかるモニター、スピーカーを設けるのはいいと思う。進行係と音声モニターは？</p> <p>省エネ・ランニングコストに関してもう少し詳しく。</p> <p>テレビ受信電波についてももう少し詳しく。</p> <p>[東側遊歩道について]</p> <p>○日建設計：敷地北東側から土手に上がるスロープのあたりで幅が狭められているので、全体としてもその程度の幅があれば十分ではないかと考え計画した。</p> <p>土手道を広くするのは可能だが、それに合わせて駐車台数が減ることになる。今後事務局とも協議していきたい。</p> <p>[排水の問題について]</p> <p>○日建設計：建設により、ため池である現況よりも土地の保水力は格段に向上するものと考えている。</p> <p>現状で排水が溢れているとすれば、今回の事業を原因とする問題ではないので、今回の事業内で対策を行うかは事務局との協議による。詳細は事務局の意見や地域の皆さんの実情を踏まえて考えていく。</p> <p>○委員：地下のピットは容量を満たしているのか？</p> <p>○日建設計：今後開発協議の中で容量を決定していく。ピットの容量は増やそうと思えば増やせるので、詳細に検討しながら実際の容量を決定していく。</p> <p>○事務局：ため池を埋め立てることで排水量が増えることはない。市民文化ホールの建設によって下流への雨水流入が増えることはなく、逆に試算では流出係数が2,3割減となる。</p> <p>○委員長：市民文化ホールの建設によって、浸水の問題、耐震性・液状化の問題等は逆に大きく改善され、防災上強いまちづくりにつながる点をご理解いただきたい。</p> <p>○委員：イベント時以外に人が集まるのは外構の芝生広場。C案で、</p> |
|--|---|

その全面は森にせず、開けた芝生広場として、子どもの遊具やひとづくり支援センターがあるのがよい。

池をやめて芝生広場にして、ロータリーを南側にずらし、ひとづくりセンターとの間の芝生広場を大きく設けては。芝生広場には電気・排水等設備を設け、屋台が出せるようにして、人がにぎわう形にしてはどうか。

池は、小さい子どもが遊べるプール程度があれば十分。パースにあるような水辺に座り込んでのデートよりも、親子が遊べるような環境を作る方が望ましい。

○日建設計：C案の場合、両施設が近接しており、ロビーからひとづくり支援センターの中が見えてしまっているのかという懸念がある。芝生と木がミックスされた状態で緑豊かな庭になるので、ある程度高木があった方が良いのではと思い、計画した。

池は古井池という300年続いた池の痕跡を少しでも残したいとの思いから計画した。

○委員：ホールが森・池・ロータリーの枠の中に入れ込まれている印象があるので、もう少し開放的なイメージになった方が良いのではと思う。

○日建設計：芝生があって、さらに木陰も必要ではないか。北側駐車場部分の広大な空地とのメリハリを付ける意味でも、ある程度高木があった方が良いのではと思う。

○委員：土地の記憶の継承が今回の建設に当たってどういう意味があるか、「池か芝生か」ではなく、根本的なところで話した方がよいのでは。

○日建設計：地元の人が土手を歩いた記憶を想像し、計画した。

○委員：土手は残し開放型とするのは良いと思う。

樹木を減らした方が開放感があってよいのでは。

○委員長：芝生広場のひとづくり支援センターとの共用に関しては、支援センター側の意見を聞く必要がある。「つかず離れず」の関係が求められ、ホールから丸見えとなるような芝生広場は望ましくないとの意見があるかもしれない。ここだけの議論ではなく、ひとづくり支援センター側との調整が必要。

市民文化ホールの建設は、スクラップ・アンド・ビルドではなく100年200年と永くシンボルとして存在させようという思いがある。古井池の水辺を何らかの形で残していくことは300年続いた古井池の歴史の延長上に市民文化ホールの建設があり、そのことが、市民文化ホールが永く愛されていくことの象徴となる、といったことを説明できるようにしなければならない。水辺をなくして「ばかなことをした」と言われなければならない。

| | |
|--|--|
| | <p>○委員：能舞台についてよく理解できた。薪能等が広場で行われれば、良いと思う。</p> <p>芝生広場について、ガラス張りの内部が丸見えになるより、建物の前に木があり、緑のそよぎがあるのはいいことだと思う。全体を林のように木を植えるのはいかがなものかと思うが、両方の建物の前に木があるのはいいと思う。</p> <p>○委員：小ホールについて、チープに感じる。リハーサル室の大きさをうまく使えば、小ホールを小劇場・小コンサートホールとして特化したものとして運営していくのが可能ではないかと思う。検討は可能か？本当に市民が求めるのは可動席なのか？可動を取りやめ、平土間のイベントがリハーサル室、まんなかロビーで代替可能なのであれば、そうすべき。そのうえでより充実した小ホールにしてほしい。</p> <p>小ホールの搬入口は上手、下手どちらか、できれば上手に寄せてほしい。</p> <p>トイレの場所が奥まりすぎている。もっと見やすく、わかりやすい場所にあってしかるべき。</p> <p>○日建設計：（小ホールの構造について）日建としても同様のことを考えている。小ホール（を平土間にした場合）と同様の空間がリハーサル室・会議室とあり、3つも必要かどうか。可動席とするとすわり心地が違ってくるし、イニシャルコストもランニングコストも大きくかかる。可動部をなるべく少なくすることが今後のホール運営にとってメリットになる。できれば小ホールは固定に特化すべきとの考えで、次回提案させていただきたい。</p> <p>■設計モニタリングについて</p> <p>○空間創造研究所：設計者が作成した図面、提示した資料に対し、ホール施設に求められる機能的な内容、安全性に関して十分な検討がなされているか、計画の中に問題点がないかをチェックするのが業務の内容。</p> <p>・建設委員会の思いが集約されたコンペ要綱が具体的・機能的に設計に反映されているかを確認する。</p> <p>○委員長：市民にどのようなニーズがあり、それをどのように実現したかの合理的な説明が対外的にできるようなモニタリングをお願いしたい。</p> <p>■今後の予定</p> <p>○委員長：今後第3木曜に開催とする。場合によっては月に2回になることもあり得る。（閉会）</p> |
|--|--|

